

平成29年度第1回
 国立大学法人徳島大学・国立大学法人鳴門教育大学
 入札監視委員会会議議事概要

開催日及び場所	平成30年 3月 6日(火) 徳島大学本部棟1階 第1会議室A	
委員	委員長 大寺 健司 (公認会計士・税理士・行政書士・AFP) 委員 永本 能子 (弁護士) 委員 竹村 文宏 (徳島文理大学教授)	
審議対象期間	平成29年1月～平成29年12月	
抽出案件(合計)	3件	(備考) 今回の審議対策期間においては、再苦情の申し立ての審議依頼はなし。
工 事(小計)	2件	
一般競争入札(政府調達に関する協定対象工事)	0件	
一般競争入札(上記工事を除く)	2件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1件	
公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0件	
標準型プロポーザル方式	0件	
一般競争入札	0件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>開会</p> <p>議題1. 入札監視委員会委員長の選出について</p> <p>委員の互選により大寺委員が委員長に選出された。</p> <p>議題2. 平成29年に発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について</p> <p>事務から、資料1～3により入札・契約手続きの状況について報告を行った。</p> <p>【意見等】特になし</p> <p>続いて、抽出案件の審議を行った。</p> <p>資料4 徳島大学(病院)基幹・環境整備(自家発電設備更新等)工事</p> <p>入札方式等: 一般競争、総合評価落札方式(実績評価型)</p> <p>事務から、工事概要等の説明を行った。</p> <p>【意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者入札となったが考えられる理由は何か ・総合評価方式における加算点の評価結果表の工事成績が0点となっているが施工能力に問題はないのか ・総合評価方式における加算点の評価結果表の地域精通度が0点となっているのは何故か <p>資料5 鳴門教育大学(高島)ライフライン再生Ⅱ(電気設備)工事</p> <p>入札方式等: 一般競争、総合評価落札方式(実績評価型)</p> <p>事務から、工事概要等の説明を行った。</p> <p>【意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの見積りを基に積算されたとのことだが、低入札価格となったのは何故か ・総合評価落札方式(実績評価型)・評価基準・配点表のワーク・ライフ・バランス等の推進とは 	<p>入札手続き関係の書類は6者に配布した。入札に至らなかった理由を業者に聞き取りしたところ、配置を予定していた技術者が他の工事の関係で配置できなくなった等、社内的な事情によるとのことであった。</p> <p>加算点は、国等による工事成績が反映される仕組みとなっており、工事成績の評価基準の異なる地方公共団体等の成績は反映されないが、工事施工能力には支障は無いと判断している。</p> <p>評価基準が、徳島県内に技術者・資機材の拠点がある場合は2点、無い場合は0点となっているため。</p> <p>入札参加者とメーカーとの取引実績の効果で、実際の納入価格が積算時に徴収した見積価格をかなり下回ったと考えられる。</p> <p>くるみん等のワーク・ライフ・バランス等の取組に関する認定があれば2点、なければ0点となっている。</p>

意見・質問	回 答
<p>資料6 徳島大学(病院)倉庫棟改修その他(建築・設備)設計業務</p> <p>入札方式等:随意契約方式 事務から、業務概要等の説明を行った。</p> <p>【意見等】 ・本業務に関して、今後も施設の維持管理等の関連する随意契約の予定があるのか。</p> <p>その他</p> <p>委員から、入札者を増やす努力をして欲しい旨の依頼があった。</p> <p>理由さえしっかりしていれば入札に拘らずに随意契約を柔軟に使っていくという考え方でも良いのではないかとの意見があった。</p> <p>事務から、徳島大学、鳴門教育大学ともに、平成29年1月1日～平成29年12月31日の間に再苦情の申し立てはなく、また、指名停止措置もない旨の報告があった。</p> <p>平成29年1月から12月までの審査対象期間については、特に問題なく適切に処理されている旨、承認された。</p> <p>閉会</p> <p>事務から、来年1月末で満了となる委員の任期について、来年度も引き受けて頂くことを依頼し、全委員から内諾を得た。 また、次回は平成31年2月か3月に開催予定であることを連絡した。</p>	<p>現在のところその予定はない。</p> <p>入札条件を緩和する等参加者数を増やすよう検討したい。また、入札資料を配付した業者数の情報も一覧表に記載するなど実情に即した記載方法とすることも検討する。</p> <p>文部科学省とも相談しながら、工事や設計の内容によっては、積極的に随意契約方式の採用も検討していきたい。</p>